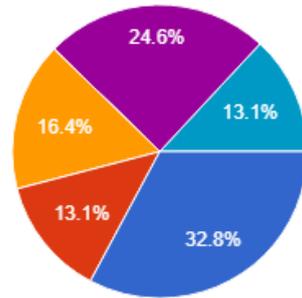


平成 30 年度 定点景況調査【8 月分】

業種

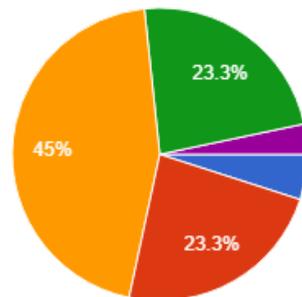
61 件の回答



- ①製造業
- ②建設業
- ③小売業
- ④卸売業
- ⑤サービス業
- ⑥その他

1. 今月の景気

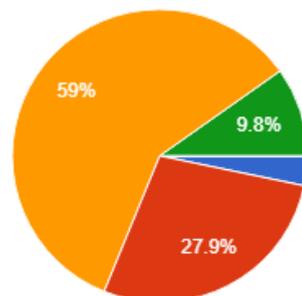
60 件の回答



- ①良い
- ②やや良い
- ③どちらとも言えない
- ④やや悪い
- ⑤悪い

2. 今後 2 ～ 3 カ月先は良くなると思うか

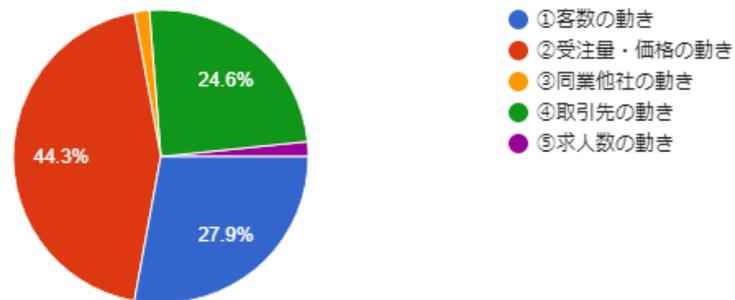
61 件の回答



- ①良くなる
- ②やや良くなる
- ③変わらない
- ④やや悪くなる
- ⑤悪くなる

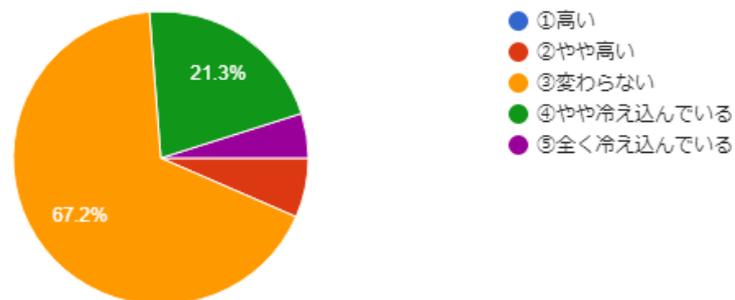
上記1、2のようになると思われたのはなぜか

61件の回答



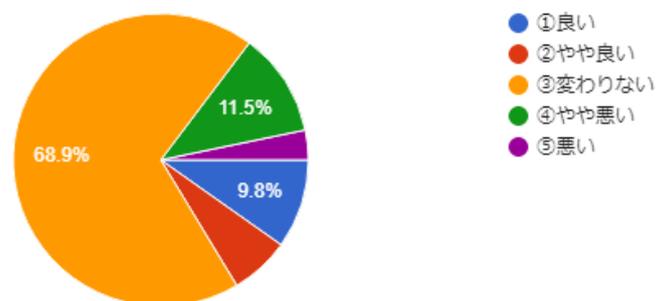
4.周り（自身を含め）の消費意欲

61件の回答



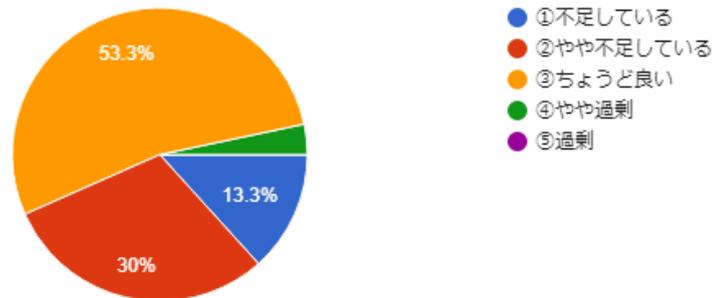
5.自社の資金繰りは順調と思われるか

61件の回答



6. 自社の従業員の過不足感

60 件の回答



7. 自社の経営上の問題点や困っていること等 39 件の回答

受注量は増減なし。材料価格は上がっているが製品単価は上がらない。(金属製品製造業)

売上高前年同月 10%減(小売商組合)

受注がやや減少傾向(建築設計業)

取引先の動きが活発になってきた(建設業)

晴天の日が多くBBQの来客が増加した。(飲食業)

ほとんどの企業が 5 連休、6 連休であった。受注があるので大型連休にはならなかったようである。人員不足感はあるが、受注が少ない時期に余剰にならないよう各企業の調整努力を感じる。(製造業種組合)

受注が増加傾向(建設業)

取引先に動きがでてきた。一方、欲しい人材の補充が難しい。(金属加工業)

取引先の動きが順調(機械製造業)

60 歳定年後の継続雇用でほぼ継続となっているが、引き継ぐ人材の確保ができていない。より良い人材を採用できるように、待遇見直しやトイレ等の環境整備を行い、受け入れ態勢を構築中。(印刷業)

例年 9~11 月は受注が増えるが今年は動きが鈍い(旅客バス運送業)

受注量は増加しているが長期にわたり継続するか不透明。仕入単価も上昇継続中。人手不足は深刻化。(金属加工業組合)

建設機械修理等の受注が減少(機械修繕業)

スタンド(ガソリン)供給量は横ばい(物流事業協同組合)

取引先の動きが悪い、神棚の受注はあるが建具受注がない(木工業)

見積り依頼の引き合いが増加。従業員が高齢化し技術の継承が課題(木工業)

取引先の動きが悪い(木工業)

契約が増えてきている(生命保険業)

受注は良好(システムサポート業)

受注内容の変化、増加等があり一人では対応できなくなっている。業務の整理をするために従業員 1 名雇用予定(司法書士事務所)

事業承継において、自社株の引継ぎやタイミングが課題である(建設業)

受注減(木工業)

受注量増減なし(自動車部品製造業)

受注量 10%程度増加見込み(金属製品製造業)

スタッフが退職し人件費が減少した(美容業)

秋期は客数増加見込み(パソコン教室)

受注が増加傾向(住宅部材加工業)

取引先の一時停滞していた分野に動きが出てきた(金属部品製造業)

受注量変動なし(印刷業)

秋口の需要にやや期待。従業員の高齢化だけでなく機械設備・建物の老朽化が課題だが大口の設備は難しい。(建具製造業)

資材(外国材)の高騰が継続、国際状況の変化が影響しているのでは(住宅部材製造)

客の動き少なめ(菓子小売業)

猛暑で例年より客数減少(茶小売業)

いかに現状を維持、向上させるか。新たな戦略が必要かが課題。(婦人服小売業)

取引先の合併統合が続き、今後の取引量の減少が予測される。事務職の求人も反応が無くなっている。豪雨災害の影響で関西方面の取引先への出荷ができず売上ダウン。(園芸用土製造業)

暑さによる野菜の傷みで出荷できないものが多かった。全国的に野菜の高騰は 10 月頃まで続く見通し。飲食店等の利益確保はさらに厳しく。(農業生産法人)

販売価格が低下した上に暑さで収量も安定しなかった。苗の植え替えが例年より早まり、人手不足を感じている。暑さによる作物の腐敗も多かった。(トマト生産販売業)

秋の出荷シーズンに入り昨年より 10%増での生産体制。個人消費は冷え込みが見られるが、安さよりも品質・安全を求める傾向(金額関係なく)。金融機関からの融資は請けやすい(金利 1%以下)(園芸用土製造業)

秋まつり関連の受注を確保。市の入札は同業者が同一のソフトを使っているため、最終的にくじ引きになることが多く、運次第で受注が取れる状況(電気工事業)